

兵庫・川岸遺跡
かわぎし

1 所在地 兵庫県城崎郡日高町松岡字川岸

2 調査期間 一九八四年(昭59)一二月～一九八五年三月

3 発掘機関 日高町教育委員会

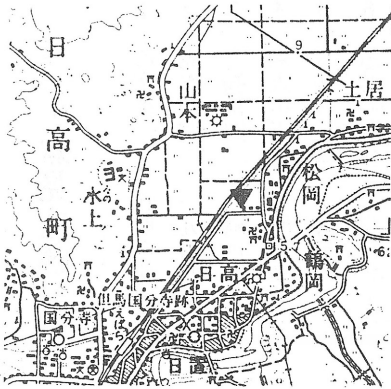
4 調査担当者 加賀見省一

5 遺跡の種類 官衙関連遺跡

6 遺跡の年代 八～九世紀

7 遺跡及び木簡出土遺構の概要

川岸遺跡は、円山川の左岸、標高約一六mの沖積平野に形成された遺跡である。遺跡は、旧但馬国気多郡の東部に位置し、西南約一



(出 石)

kmには但馬国分寺、西方約七〇〇mには但馬国分尼寺が置かれた律令時代における但馬国の中心地である。また、遺跡の周辺には但馬国府の所在地が数箇所推定されている。一九八四年、町道の新設に伴い発掘調査を行ったと

ころ、八世紀前半～九世紀前半にかけての溝を二条検出した。このうちのしがらみで肩部を補強した幅約一・五mの溝から木簡が出土した。木簡は、文字の判読できるものは一点のみで、他に墨痕は認められないが付札が一点出土している。他に、この溝の埋土には墨書器や、人形・馬形・斎串などの木製品も多く出土しており、官衙施設に付随する遺跡ではないかと思われる。

8 木簡の積文・内容

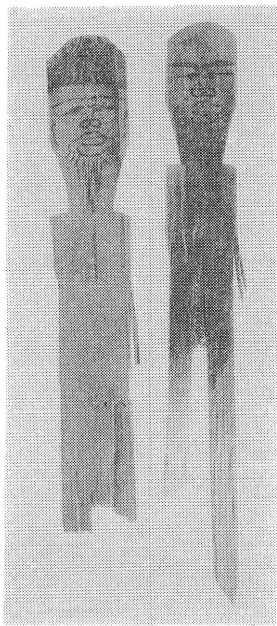
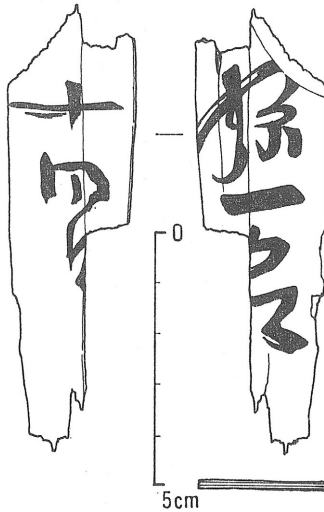
内容

(1) ・努万呂

・十四日

(86)×(24)×2 081

(加賀見省一)



人形